

新評論

2019

9

No.296

発行所 © 新評論 2019年
〒169-0051 新宿区西早稲田3-16-28
TEL03-3202-7391 FAX03-3202-5832
http://www.shinhyoron.co.jp
e-mail : shrn@shinhyoron.co.jp
振替 00160-1-113487 価格税抜

著者近影(撮影:Gerald Gartan, 2015年3月)



パリ気候協定後の世界とトランプ現象の根幹をどう理解し、思考の共有を図るべきか。名著「虚構の「近代」」著者からのメッセージ!

地球に降り立つ

新気候体制を生き抜くための政治

ブルーノ・ラトゥール／川村久美子 訳・解題

◆ジャンル: 科学人類学・文明社会批判

経済成長戦略によって「富裕な共有世界」を限りなく広げるといふグローバル化の夢、その実現に向けて戦後の世界は開発一辺倒の道を歩み続けてきた。一方、二〇一五年のパリ気候協定締結時、各国代表はもう一つの見解を共有するに至った。地球の物理的限界ゆえに、もはや各国の開発プログラムをすべてを実現するのは不可能だと気づいたのだ。しかし、その後、米国政府によるパリ協定離脱、地球温暖化の否認、脱グローバル化・保護主義の動き、国境の壁建設などは何を意味するのだろうか。世界の一部の富者だけが富を独占し、残りのすべての人々を捨象する昨日までと同じ計画が、新たにうねり出した新気候体制の下、米国のみならず日本を含む大国の間で、これまで以上の勢いで推し進められているのである。自国の経済成長と地球規模の気候変動対策は両立しえない。ところが多くの人々は依然、経済のグローバル化の夢の中にいる。

これまで近代科学は、自然を、人間活動とは無縁の客観的世界として描いてきた。そのため自然は「不動の背景」となって人間の欲望や果てしない夢を支えてきた。今日、地球環境破壊の亢進によってその「不動の背景」が動きつつある。米国他他の大国もその事実を知っている。しかしそれを隠蔽しそれとは裏腹なバラ

色の世界を描く。世界政治は今、生物的身体が居住する現実世界の「現実」そのものを否認し、「物理的対象を失った」状態にある。

本書はこうした危機的状況が作り出される政治構造を明らかにし、そこから脱出するための現実的思考を人類共有の構築物として鮮やかに描き出す。必要なのはグローバルでも国家でもなく、地球規模の政治体系のもとで、人類を近代の呪縛から解き放ち、人類を「地球に降り立たせる(Down to earth)」ことである。

著者ラトゥールは科学と社会の関係を軸に、科学人類学の視点から長年にわたる近代文明を分析し続けてきた。その世界的影響力は学界のみならずメディアや政治領域にまで及ぶ。最近では地球科学の研究者グループとも連携し、人類活動の変革のための共闘体制を築いている。人類の危機対処能力を格段に高めるための思考実践として、多くの知識人、専門家、市民の方々に読んでほしい問題の著である。(かわむら・くみこ 東京都市大学名誉教授/科学社会学)

ISBN978-4-7948-1132-5 10月刊
四六上製 予二〇八頁 予二二〇〇円

好評6刷

虚構の「近代」

(科学人類学は警告する)

ブルーノ・ラトゥール／川村久美子 訳・解題

三三〇〇円

著者 Bruno LATOUR(1947~) フランスの社会学者、哲学者。アクターネットワーク論者として著名。パリ政治学院の政治芸術プログラム・メディアラボ(SPEAP)名誉教授。ドイツのカールスルーエ造形大学教授。2013年、ノルウェーの作家の名を冠したホルベア国際記念賞を受賞。

緊張緩和から共産圏崩壊にかけての時代を、ひと組の母と娘の物語を通じて圧倒的迫力で描き出す、ラトヴィア文学の傑作!

ソビエト・ミルク

ラトヴィア母娘の記憶



著者近影

ノラ・イクステナ／黒沢 歩 訳
【4/13 NHK「おはよう日本」にて紹介】

◆ジャンル：海外文学／ラトヴィアの小説

ラトヴィアは、医師全体に占める女医の比率（七割超）と教育機関における女性管理職の比率（八割超）で、OECD（経済協力開発機構）加盟国中でもトップの座にある。この物語の核をなす母親もまた、産婦人科医として生命の誕生に携わる現場に身をおいている。

ソビエト体制下の閉塞感に追い詰められていく母親は、出産直後の娘に乳を与えなかった。その傍らで祖父は孫娘を養育しながら、密かに語り聞かせる——「かつてラトヴィアという国があったのだよ」

「母」と「娘」という、名前の与えられていない二人の語り手は、交互にリレーをしながら繊細にたゆたう関係を紡ぎあげ、それぞれの葛藤をひもといていく。そこにわずかに登場する男たちの存在感は、断片的なものにすぎない。そもそも生命と記憶は、母から娘へと継承されるものだというかのように。

物語にインパクトを与えるのが、キリストを思わせるイエセと正教会の聖人セラフイムにちなんだ名をもつ人物であり、いわばオーウェル『一九八四年』のウィンストン・スミスである。ソビエト時代の人々はまた、アメリカのカウンターカルチャー、ブレジネフの死、チェルノブ

イリの原発事故、そしてベルリンの壁崩壊という、二〇世紀後半をガタガタと揺るがした出来事を肌身に切実に感じとっていた。物語は極めて個人的な母娘の関係を軸としながら、「人生は生まれた時代と場所が決まる」という普遍性を兼ね備え、同時にラトヴィアの森や暮らしの匂いも漂わせる。

本作は、『We Latvia 20th century』をテーマに現代作家たちが取りかかった小説シリーズの一作である。二〇一五年に出版されて本国で記録的なベストセラーとなった。著者は本作を、女医であった実の母に捧げるものであるとともに、もし自分が出産を経験していたならばこれを書くことはなかっただろうとも述べている。原題 *Mates piens* の直訳は、やはり「母乳」。(くろさわ・あゆみ 翻訳家)

ISBN978-4-7948-1133-2
四六並製 二八〇頁 予二〇〇〇円

9月刊

木漏れ日のラトヴィア

二二〇〇円

黒沢 歩

ラトヴィアの蒼い風

「清楚な魅力のおふれる国」

二四〇〇円

好評

ダンスシューズで雪のシベリアへ

「あるラトヴィア人家族の物語」

三三〇〇円

サンドラ・カルニキテ／黒沢 歩 訳

著者 Nora IKSTENA (1969～) リガ生まれの現代ラトヴィアを代表する小説家。ラトヴィア大学、コロンビア大学にて学び、ラトヴィア出身の文化人らの評伝ほか短編や随筆多数。1998年発表の *Dzīves svinēšana* (『人生礼賛』未邦訳) にて長編小説デビュー。

ジハードと死

オリヴィエ・エロワ／辻 由美訳

過激派の声に耳をすませ、20世紀末以降、欧米の若者たちを「死と暴力」に駆り立ててきたものの正体を剥出。

四六並製 一三四頁 一八〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1124-0



《死への愛》から若者を解放するために

屈服しない人々

T・トドロフ／小野 潮訳

ヒレスム、ティヨン、バステルナーク、ソルジェニーツィン、マンデラ、マルコムX、シユルマン、スノーデン。四六並製 三二二頁 二七〇〇円

『週刊金曜日』紹介

ISBN978-4-7948-1103-5



憎しみなき抵抗 私たちはどのように生きるべきか

黙示のエチュード

マヌエル・ヤン

〔歴史的想像力の再生のために〕 破滅の予感を生き抜く力に変える。歴史社会学の異才、待望の第一論集！

四六上製 二九六頁 二八〇〇円

『書標』書評

ISBN978-4-7948-1113-4



歴史学的 唯物論の 刷新 念仏 文化界に 注目を 浴びた!

黄昏の夜明け

P・ウイリリオ&S・ロトランジェン 土屋 遼訳

〔光速度社会の両義的現実と人類史の「今」〕現代世界の最前線の問題に迫る重要対話、待望の邦訳！

四六上製 予二八〇頁 予二七〇〇円

近刊

ISBN978-4-7948-1126-4



CREPUSCULAR DAWN 黄昏の夜明け

喜びへの希望

〈楽園の歴史〉III

J・ドリモア／西澤文昭・永見文雄訳

西洋文明を刺激し続けた「幸福Ⅱ 天国」観の生成・解体・脱構築。心性史研究の金字塔三部作、堂々完結！

A5上製 七二四頁 九〇〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1123-3



楽園の歴史 天国の遺産

議論と翻訳

桑田禮彰

〔明治維新时期における知的環境の構築〕現在の危機の本源は議論の劣化にある。議論環境の再構築へ！

四六並製 五八〇頁 四八〇〇円

『週刊読書人』他書評

ISBN978-4-7948-1110-3



現在の危機の本源は議論の劣化にある。

大事なことがはつきりする

ささやかな瞬間

ミハエル・ナスト／小山千早訳

〔関係づくりが苦手な世代〕 社会や世代が抱える問題の本質をユーモア豊かに綴る大人気コラム、日本上陸！

四六並製 二四〇頁 一八〇〇円

『読売新聞』短評

ISBN978-4-7948-1125-7



大事なことがはつきりする ささやかな瞬間

リングトーン

塩田良平

〔未来からのメッセージ〕 過去は未来を開く扉——リアルな設定で人類とAIの関わりを問う近未来小説。

四六並製 二八八頁 一八〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1112-7



RINGTONE リングトーン 塩田良平

過去は未来を開く扉

スウェーデンの
小学校社会科の教科書を読む
ヨランダネネリンド / 鈴木木賢志 著 編訳

「日本の大学生は何を感じたのか」
投票率85・8%の国では、小学校社会科で何を教えているのか!?
四六並製 二八〇頁 一八〇〇円

久米宏氏、座間宮ガレイ氏絶賛
ISBN978-4-7948-1056-4



良いスウェーデン、
悪いスウェーデン

P・ラパチオリ / 鈴木木賢志訳
「ポスト真実の時代における国家ブランド戦争」280字のつばやきを武器とする戦争が始まった!?!
四六並製 一五六頁 二二〇〇円

最新刊
ISBN978-4-7948-1130-1



ノルウェーのサーム学校に見る
先住民の文化伝承
長谷川紀子

「ハットフェルダル・サーム学校のエニクな教育」次世代に継承される「トナカイと共に生きる文化」。
A5上製 三三六頁 三〇〇〇円

最新刊
ISBN978-4-7948-1128-8



梅根悟

「その生涯としごと」梅根の前に梅根なし、梅根の後にも梅根なし」と言われた教育界の巨人の決定版評伝!
四六並製 一四四頁 二二〇〇円

『西日本新聞』他書評
ISBN978-4-7948-1116-5



教育のプロがすすめる
選択する学び

M・エンダーソン / 吉田新一郎訳
「教師の指導も、生徒の意欲も向上」能動的な学び手（アクティブ・ラーナー）を育てる選択する授業革新。
四六並製 三三四頁 二五〇〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-1127-1



教育のプロがすすめる
イノベーション

G・クローヌ / 白鳥信義 吉田新一郎訳
「学校の学びが変わる」読む者に行動を起こさせる卓抜なヒントに満ちた、「学校づくり」のバイブル。
四六並製 二七八頁 二七〇〇円

最新刊
ISBN978-4-7948-1129-5



教科書では学べない
数学的思考

KJ・ステイスイー他 / 吉田新一郎訳
「ウーン」と「アハ」から学ぶ! 算数・数学ざらいがこの一冊で解消! 読めばあなたも論理的思考の達人。
四六並製 三二四頁 二四〇〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-1117-2



宿題をハックする

C・S・ハミルトン / 高瀬裕人 吉田新一郎訳
「学校外でも学びを促進する10の方法」教師と子どもが笑顔になる「家庭学習」で、学びの意味をとりもどそう!
四六並製 三〇四頁 二四〇〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-1122-6



野球母ちゃん

神川靖子／協力：池谷弘子

〔そのパワー侮るなかれ〕 野球少年を子にもつ母たちの泣き笑いの日々。感動・爆笑必至のドキュメンタリー！

『朝日新聞』他紹介
ISBN978-4-7948-1108-0



神川靖子
感情
むき出しの
日々が幸せ！

著2016年
全国読者投票
1000人
新世紀に輝く
母ちゃんの魅力！

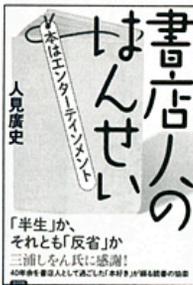
四六並製 二四〇頁 一八〇〇円

書店人のはんせい

人見廣史

〔本はエンターテインメント〕「半生」か、「反省」か——40年余を書店人として過ごした「本好き」が綴る読書の愉楽。

『毎日新聞』他紹介
ISBN978-4-7948-1101-1



書店人のはんせい
「半生」か、
それとも「反省」か？
三浦しん平氏に感謝！
読書家として過ごした半生が、書店員としての日々

四六並製 一五六頁 二〇〇〇円

猫たちとニューヨーク散歩

画：久下實史／文：ジャバンアチスト株式会社

〔久下實史作品集2〕「マンハッタンーズ」で著名な画家と猫たちの温もり溢れるNYほのぼのの生活。

『日刊ゲンダイ』書評
ISBN978-4-7948-1100-4



猫たちとニューヨーク散歩
久下實史作品集2

画家と猫たちの、
温もりあふれるニューヨークへ

B5並製 二〇〇頁 三八〇〇円

新装合本 牙王物語

戸川幸夫著／田中豊美画／戸川久美解説

大雪山連峰を舞台に繰り広げられる自然・動物・人間の壮大な物語。よみがえった動物文学の最高峰。

『週刊朝日』書評
ISBN978-4-7948-1107-3



よみがえった
動物文学の最高峰
自然・動物・人間、その関係を考えよう！
『牙王』を『牙王物語』として再刊

四六並製 三六八頁 一八〇〇円

京都からみた、日本の老舗、世界の老舗

松岡憲司編著

常に挑戦を忘れず命脈を保ってきた京都の老舗。東京、金沢、イタリヤ、中国との比較分析からその革新性に迫る。

好評刊
ISBN978-4-7948-1119-6



京都からみた、
日本の老舗、世界の老舗
松岡憲司

老舗の伝統VS革新
1200年伝承の老舗から「新選」する老舗まで
京都・東京・金沢・イタリヤ・中国

A5上製 三〇四頁 二八〇〇円

筑後川まると博物館

筑後川まるごと博物館運営委員会編

〔歩いて知る、自然・歴史・文化の一四三キロメートル〕 壮大な野外ミュージアムの魅力を伝えるガイドブック。

『西日本新聞』紹介
ISBN978-4-7948-1120-2



筑後川まると博物館
歩いて知る、自然・歴史・文化の一四三キロメートル
筑後川流域をめぐる！

A5並製 二七二頁 二四〇〇円

メイド・イン・ツバメ

関 満博

〔金属製品の中小企業集積で世界に羽ばたく新潟県燕市〕 燕は何度でも甦る！企業家精神で幾多の危機を乗り越え、世界的な集積を築いたまちの歩み。114事業所訪問の産業大全。

ISBN978-4-7948-1131-8 近刊

A5上製 予五六頁 予八五〇〇円

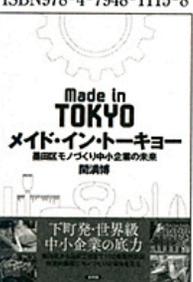
著者一九四八年生まれ、一橋大学名誉教授。博士経済学。代表著作『日本大企業史と地域産業復興』、『VTR』、『VTR』。『VTR』のほかに、『藤田和郎の地方田園都市』、『メイド・イン・ツバメ』、『メイド・イン・ツバメ』、『メイド・イン・ツバメ』など著書、編著書多数。

メイド・イン・キー

関 満博

〔墨田区モノづくり中小企業の未来〕 製造業から伝統工芸まで103事業所訪問、空前絶後の墨田区産業大全！

『週刊東洋経済』書評
ISBN978-4-7948-1115-8



Made in TOKYO
メイド・イン・キー
墨田区モノづくり中小企業の未来
関満博

下町発・世界級
中小企業の威力

A5上製 五八四頁 八〇〇〇円

本田一成『写真記録・三島由紀夫が書かなかつた近江絹糸人権争議』

蘇る未だ過ぎ去っていない近江絹糸的コミュニケーション

■評者 奥井禮喜(有限会社ライフビジョン代表取締役、「週刊RO通信」発行人)

『労働の科学』2019年6月(74巻6号)

本書は近江絹糸人権争議の意味を200枚超の写真を通して語らせる。1946年に発足した近江絹糸労働組合を真に組合らしい組合にさせるべく、49年に刷新同盟が立ち上げられて以来、人権闘争と呼ばれた54年の106日間の争議と、以後組合が分裂し、再統一するまでの同労組の活動記録である。

著者は問う、この記録から「現在の経営者・労働者は何を感じるだろうか」と。三島由紀夫(1925~70)が、争議を背景として『絹と明察』(1964)を書いたが、労働者が止むに止まらず決起した争議を真正面から書いていない。そこで著者は「絹とクミアイ」というサブタイトルをつけて本書を制作した。評者は、「絹と明察」は他に譲り、著者の問いかけを軸として論評を試みたい。

昔の写真である。鮮明な写真は多くはない。写真に語らせたいから説明は抑制的トーンである。評者の叔母二人も紡績女工であった。近江絹糸ではないが訪問した記憶が蘇った。いまからすれば、セピア調が似つかわしい。カメラ技術もさることながら、争議の場面など撮影に集中していられない。緊張感が写し取られている。

どの組合運動史を読んでも、面白いのは戦後最初のものである。単に資料記録するだけではなく、書き手の気持ちが滲んでいる。活動を一つひとつ作っていく、なんとしても現状を突破したい気迫が現れているからだ。歴史観が育たないのは、人間観・世界観が育たないからである。当時も組合は機関活動に傾斜していたが、人々の切実な気持ちに立脚しているから迫力がある。

「歴史は科学であると同時に芸術である」という。人々の暮らしや仕事の一所懸命が日常を形作る時、人々は「日常生活の達人」(三木清)すなわち生活を芸術にまで高めて歴史の主人公として台頭する。54年6月未明、決起を呼びかけて走り回る若者たちを寮の窓から見つめる女子たち(37頁)の明るい表情は、「待つていた時が来た」と語っているみたいである。新組合加入手続きに群がる若者たち(39頁)の真剣な表情も印象が強い。弱者の立場からの期待やお願いは力にならない。「働かせてやる」という封建主義精神の社長に対して、働かせていただくのではない、「わたしを認める」というデモクラシー精神が近江絹糸争議である。

デモクラシーを認めない精神に対するデモクラシーの革命である。労働者が、偽のfor the peopleに対

して、とどろきを引つ提げて立った。ついでだが、三島は「筋や論理はどうでもいい、とにかく秩序が大事だ」というような態度は嫌いだ」と語った。だから、争議を中心には書いていないが、たぶん争議を支持していただろう。

「歴史研究にとって大事なものは、過ぎ去ったがゆえの過去ではなく、過去のなかで、現在において、まだ過ぎ去っていないものに他ならない」(ドロイゼン)という言葉に、評者は共感する。歴史を顧みない運動は発展しない。争議は、抑圧された感情を爆発させたのではない。「わたし人間らしく生きる」ために決起したのである。近江絹糸的コミュニケーションの体験をじっくり考えたい。土に埋もれた古代ギリシャが2千年を経てルネサンスに蘇ったのである。

A5並製 二五六頁 二四〇〇円

斎藤美奈子氏推奨!

ISBN978-4-7948-1118-9



200枚超えの写真を加える
本田一成
未公開写真
名作『絹と明察』
の背景に三島由紀夫の
見えた姿が
鮮やかに

本を売る

日々精選

自然科学書・環境問題関連書の担当になり一年が過ぎました。苦手な分野でしたが、少しずつ専門用語も聞き慣れてきました。それぞれの分野に詳しい出版社の方々から、売れるポイントや小分類の分け方等を教えていただき、少しずつですが、お客様に選書していただきやすい棚を理想に、日々整えております。自らの知識の無さをカバーするために、毎日各分野の売上をチェックし、当日売れた本のタイトル、冊数を必ず確認するようにしています。また日々情報をチェックし、新聞の書評やニュースを調べるようにしております。ネットでも簡単に本が購入できる今（しかも便利な世の中）、「わざわざ書店に来て良かった！」と思っていたり、欠本のないようには注意します。メイン通路の平台に置く本は定期的に替え、飽きのこないように工夫します。書店に来て新しい発見や、出会いがあったな、と思ってもらえるよ

う、各棚の面陳や差しの本まで、時間が許す限り棚整理をおこなっております。

店頭でお問い合わせをいただいた場合は、お客様とのコミュニケーションを大切にしよう、できる限りご要望に応えられるように工夫いたします。お客様のほうがそれぞれの分野に詳しく（当然のことですが）、いただいた情報からフェアや品展開のヒントをもらうこともあります。最近は海外からのお客様も多く、わからない言語でもGoogleの翻訳機能でお互い意思疎通が可能です。とても楽しいです。今まで知らなかった事をコミュニケーションによって知ることができ、知的好奇心や想像力が広がる、これは書店員をしていてもっとも嬉しいことだと考えています。理想通りに進められない場合も多々ありますが、すべては自分ひとりの力では実現しないことなので、売場の同僚、協力してくださる出版社の方々に感謝し、これからも精進してまいります。

八重洲ブックセンター本店

有賀美輪

本誌表示価格はすべて税別です。

書評 紹介 関連記事

書評日誌 (5・1~6・15)

- 4月号 ④ツールエンジニア『メイド・イン・トーキョー』
⑤地理『『ニルスのふしぎな旅』と日本人』（荒又美陽）
⑥Björk『『ニルスのふしぎな旅』と日本人』
- 5・1 ⑦地図情報『『ニルスのふしぎな旅』と日本人』
- 5・3 ⑧週刊読書人『議論と翻訳』（出口雅敏）
- 5・4 ⑨朝日新聞『写真記録・三島由紀夫が書かなかった近江絹糸人権争議』（斎藤美奈子）
⑩西日本新聞『梅根悟』（竹本英代）
- 5・7 ⑪WEB本の雑誌『食べる？食品セシウム測定データ745』（矢部潤子）
- 5・9 ⑫新文化『猫たちとニューヨーク散歩』きらぼし銀行神田支店・久下氏作品展
- 5・14 ⑬NHK NEWS WEB『ソビエト・ミルク』著者談
- 5・20 ⑭日本教育新聞『梅根悟』（飯田稔）
⑮賃金事情『写真記録・三島由紀夫が書かなかった近江絹糸人権争議』
- 5月 ⑯ANT通信『非戦・対話・NGO』
⑰学校教育・実践ライブラリ『梅根悟』（飯田稔）
- 5・6月号 ⑱女性展望『《写真記録》関門港の女沖仲仕たち』
- 6・1 ⑲うえだ（上田高校同窓会報）『リングトーン』
- 6・6 ⑳北海道新聞『手のひらの小さな愛』（中館寛隆）
- 6・14 ㉑HAPAXブログ『黙示のエチュード』
- 6・15 ㉒週刊東洋経済『メイド・イン・トーキョー』（中沢孝夫）

本を読む

ジハードと死

待った甲斐がありました。とても興味深かったです。イスラームが過激化したのではなく「現代の過激性がイスラームのなかに入ってきた」という記述に納得しました。すでに日本人は、自国内で起きていざるまざまな事件といわゆるテロが無関係ではないと気づいているはずです。その病理を読み解く時、とても参考になる本だと思いました。9・11が起きたとき、私はクリスチャンで、テロは本当に宗教に起因するのだろうか疑問でした。愛や信仰のいきつく先がテロなんてありえないはずだけれど、それを理論にも言葉にもできないものかしらがありました。この本の末尾、「なぜテロリストの声を聴こうとしないのか」という主旨の二行は、あらゆる人に向けられた呼びかけです。

(大阪市 主婦 大矢仁美 31歳)

オーブニング・マインド

吉田新一郎さん訳の本を読むたび「日本の小学校は変化しないなあ」と痛感します。一番おもしろかったのは、第3章の「年間を通

して絶えず変化を意識させる」といった内容です。子どもが主体となつて考えたり行動したりするためには、教師のスタンスこそが問われます。この本は、その「スタンス」の具体的なあり方と理論を教えてくださいました。素敵な本です。(川崎市 教員 岡田 渉 42歳)

ブラボー！ 大雪山

旭川からは、冬を除けば晴れた日には大雪山がとても美しく見えます。本書はそういう大雪山の魅力をととても良く伝えていると思います。各写真につけられたコメントも適切で、気に入っています。(旭川市 警備員 三浦隆一 66歳)

好評刊

ブラボー！ 大雪山

写真文・大塚友記監修／
写真文化首都写真の町 東川町編
三〇〇〇円
「スウェーデンの地理読本は何を伝えてきたのか」
村山朝子 二五〇〇円

オーブニング・マインド

(子どもの心をひらく授業)
P・ジョンストン 吉田新一郎訳 二五〇〇円
国際産業立地論への招待
(アジアにおける経済のグローバル化)
鈴木洋太郎 二四〇〇円

編集部から

「バルト海の真珠」ラトヴィア、第二次大戦中ソ連に併合され、人々は半世紀にわたり圧政に苦しんだ。その渦中で出産し、夢も希望ももてない女は言った、「私の母せらは毒がある、この子には飲ませられない」——この謎めいた台詞の意味は新刊「ソビエト・ミルク」で。暗鬱な時代を描きながらも、愛や自由の意味、民族の平和な共生を求める内容が世界中で共感を呼んでいます(NHKのサイトで作品の背景や著者インタビューが読めます。「ソビエト・ミルクNHK」で検索すると出ます)▼ロングセラ「虚構の「近代」から10年、人類学の最良の知性ラトゥール、待望の新刊！「地球に降り立つ」乞うご期待。

営業部から

- ▼直近3ヶ月(2019年4月~6月)弊社の書籍売上ベスト15をご紹介します。
- ① たった一つを変えるだけ
- ② 宿題をハックする
- ③ 現代社会用語集
- ④ スウェーデンの小学校社会科の教科書を読む
- ⑤ あなた自身の社会
- ⑥ 写真記録 三島由紀夫が書かなかった 近江編糸人権争議
- ⑦ ギヴァー 記憶を注ぐ者
- ⑧ 梅根 悟 その生涯としごと
- ⑨ 教科書では学べない数学的思考
- ⑩ 国際産業立地論への招待
- ⑪ AO・推薦入試の黄本
- ⑫ 成績をハックする
- ⑬ 学びの責任は誰にあるのか
- ⑭ 黙示のエチュード
- ⑮ 11の子どもの家

SBC(新評論ブッククラブ)のご案内

当クラブ(一九九九年発足)は入会金・年会費なしで、会員の方々に弊社の出版活動内容を紹介する月刊PR誌「新評論」を定期的にご送付しております。入会登録後、弊社商品に添付された読者アンケートハガキを累計5枚お送りいただくことで、全商品の中からご希望の本を1冊無料進呈する特典もございます。ご入会希望の方は小社HPフォームからお送りいただくメール、またはハガキにてお名前、郵便番号、ご住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBC発行の「入会確認証」をお送りいたします。